

特集

江戸の粋を今と比べて  
とちぎ秋まつり

・11月14日(金)こども山車まつり  
15日(土)16日(日)本まつり

・とちぎ蔵の街大通り

見どころチェック!!

9台の山車と獅子頭  
夜はさらに幻想的!

とちぎ秋まつりのメインとなる山車  
巡行には、9台の山車と獅子頭が登場。  
15日(土)16日(日)は、9時から各  
町内や駅への巡行、13時15分と18時30  
分には大通りに勢ぞろいし、会場内を  
練り歩きます。

夜は、19時30分まで  
会場内の街路灯が消さ  
れ、提灯の明かりに照  
らされる幻想的な山車  
の姿が楽しめます。

こども山車まつりに  
児童1970人参加

14日(金)のこども山車まつ  
りには、市内各地域の小学校よ  
り3・4年生の児童1970人  
余りが参加。元気に山車を曳き  
ます。

当日は、10時から正午までと、  
13時15分から15時30分まで会場  
内を巡行します。



郷土芸能や物産販売  
記念行事がてんこ盛り

記念イベントでは、市内各地域のお囃子や和太鼓の演奏、神楽の奉納などの郷土芸能の披露が各会場にて行われます。また、物産品の販売や観光案内などを行うPRブースを設置するほか、フードコーナーや茶屋、菊花展や盆栽展など催しが盛りだくさんです。

無料シャトルバス等  
会場アクセスを充実

車での来場者のために、15日と16日は旧栃木中央小学校、栃木文化会館、栃木南中学校、栃木東中学校、県庁下都賀庁舎などを有料駐車場として用意しました。料金は500円(2000円分の感謝券付)です。また、栃木総合運動公園とイオン栃木店に無料駐車場を用意して、会場まで無料シャトルバスを運行します。  
なお、遠方からの来場される方のために、まつり会場のほかに、栃木駅において栃木市観光ボランティア協会スタッフが観光案内を行うほか、無料駐車場からのシャトルバス内でも同会スタッフが同乗し、まつりの見どころなどをガイドします。

「とち介」・「コスもん」も応援

今年の秋まつりは栃木市・岩舟町の合併を記念して開催されます。栃木市マスコットキャラクター「とち介」と、いわふねブランドキャラクターの「コスもん」が、「とちぎ秋まつりPR大使」として任命され、各地で秋まつりの広報活動をしてきました。9月20日には、東京の浅草で実施した秋まつりPRイベントに参加し、多くの人に栃木市と秋まつりのPRを行いました。



まつりの沿革

栃木に山車が誕生したのは、現在の栃木県の誕生間もない明治7年(1874)、県庁構内で行われた神武祭典のときでした。倭町三丁目(東京日本橋の町内)が所有する山王祭出御の静御前の山車を購入し、泉町が宇都宮から買い求めた諫鼓鶏の山車を賑やかに参加させたのが始まりです。これを機に山車への関心が高まり、各町とも大工や人形師に山車を作らせる動きが活発となりました。

明治26年(1893)、栃木県最初の商業会議所開設認可に係る祝典では、万町一、二、三丁目が三国志の人形を東京日本橋本石町に住む人形師・三代目原舟月に依頼して作成、また倭町二丁目は神武天皇の人形を乗せた山車を新調して参加しました。このときは、新旧6台が競演することとなり、町をあげての喜びにひたりました。さらに明治39年(1906)の神明宮・招魂社祭典では、室町が桃太郎の山車で参加して、今日のかたちができあがりました。また、大町の弁慶の山車や明治の初めに購入した倭町一丁目の獅子頭が祭りに華やかさを添えています。

栃木の山車まつりは、当初神武祭でありましたが、その後、神明宮・招魂社祭典を主軸に、会議所の祝典、ご大典奉祝祭に巡行してきました。昭和12年(1937)の市制施行祝賀を境にしてからは、おおよそ5年毎に開かれるようになり、市発展を祝うまつりへと目的を変え、現在は隔年で開催されています。



「吾一からくり時計」設置実行委員会からのお知らせ

皆様からお寄せいただいた署名と募金は、平成26年8月現在  
署名 約6,055名超  
募金 約9,664,835円超  
となりました。

なお、今後ご賛同いただける方・企業様におかれましては、下記口座にお振込みいただければ幸いです。

- ・ 栃木銀行 大平支店 普通 1011560  
 〆 仔からくり時計 設置実行委員会 〆 〆 〆  
・ 栃木信用金庫 本店 普通 0389196  
 〆 仔からくり時計 設置実行委員会 〆 〆 〆  
・ 足利銀行 栃木支店 普通 5024232  
 〆 仔からくり時計 設置実行委員会 〆 〆 〆  
・ 郵便局をご利用の場合は、振込用紙を当方で用意しております。ご利用ください。

「吾一からくり時計」設置実行委員会 桑川妙子  
電話 0282-43-9080

主催：「吾一からくり時計」設置実行委員会

朗読と音楽による  
「山本有三の世界」

解説：山本有三記念会会長 小林吉一先生  
朗読：栃木市内小学生の皆様 山本有三原作 「路傍の石」ほか  
合唱：吾一からくり市民合唱団  
市民ミュージカル「心に太陽を持って」より「心に太陽を持って」ほか  
指揮：長野豊水、ピアノ 福田とも子、朗読 茂呂久美子



2014年11月24日(月・祝日) 13:30 開場  
14:00 開演  
栃木市栃木文化会館小ホール  
入場料金：前売り 1,000円  
当日 1,200円

チケット取扱：栃木市栃木文化会館  
「吾一からくり時計」設置実行委員会および協力者  
問合せ：電話 0282-43-9080 / ファックス 0282-43-2249 桑川 妙子  
後 援：栃木市、栃木市教育委員会、NPO 法人山本有三記念会、小江戸とちぎ会

年に一度 感謝をカタチに!

お客様感謝祭

11月22日(土) & 23日(日) 午前10時 ~ 午後4時

会場：木の花ホーム本社

住まいに関するご相談はもちろん、ご家族で楽しめるイベントも盛りだくさん! ぜひお越しください!

大工3代、いい家づくり。

木の花ホーム

詳しくは下記フリーダイヤルまでお気軽にお問合せ下さい

0120-895087

木の花ホーム

本社 〒322-0606 栃木市西方町本城 62-3 建設業許可/栃木県知事許可(般-24)22929号